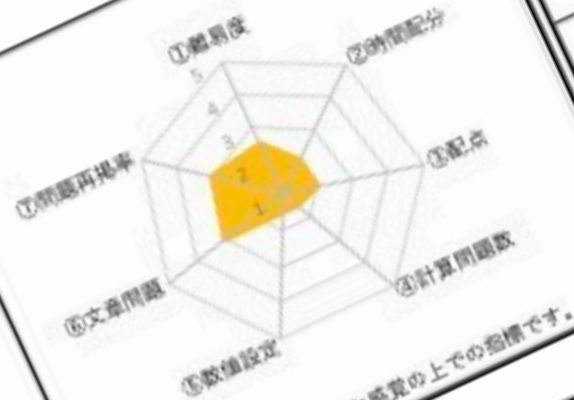


基礎的知識のク



注)あくまで個人的な感覚の上での指標です。
攻略レベルは...



×2.2個

①平均的な難易度は基礎的
全体的に基礎知識を問う問
レベルである。一問
一年3-



注)あくまで個人的な感覚の上での指標です。
攻略レベルは...



×3.8個

※星の数が多いほど攻略が難しいです。

二重三重の考察に怒涛の計算量

| | |
|----------------------|-----------|
| ①難易度 | ★ ★ ★ ★ ★ |
| ②時間配分 | ★ ★ ★ ★ ★ |
| ③配点 | ★ ★ ★ ★ ★ |
| ④計算問題数 | ★ ★ ★ ★ ★ |
| ⑤数値設定 | ★ ★ ★ ★ ★ |
| ⑥文章問題数(文章を読んで解釈する問題) | ★ ★ ★ ★ ★ |
| ⑦問題再掲率 | ★ ★ ★ ★ ★ |

【解答方式は全て記述式です】

①2016・2017年から状況一変!!例年よりも難難難化!!の傾向続く...

かつては典型的な良問を扱うイメージの強かった昭和大学だが、ここ5・6年で状況は大きく変化している。複雑な考察問題や手間のかかる計算問題が複数題出題されるようになり、生半可な実力では門前払いされてしまうようになってしまった。特にアミノ酸や糖といった、受験生の手が回り惜い単元から深く切り込んでくるため、化学全般的な、しっかりした底力が無いと戦い抜くことは困難である。特に考察系の問題はとても厄介だ。読み解ければ道筋は付けやすいのだが、初見の情報量の多さと、考察処理するポイントが多いため、文章の中身がなかなか頭に入ってこない。幾重にもイバラが生い茂る獣道を進むが、容易には前進できない。また、「これ、知らないと解けないよね...他の大学ではここまで...」といった知識の壁が立ち上がる。他大学では訳註が付くか、説明が付くか、DNAの塩基の構造、グルコース以外の糖類の細かな構造等々...ライ...高分子の知識に不安がある受験生は、大問の設定は毎年4題ほどであり、一マからの出題が多